

# 森のはこ舟

## アートプロジェクト2015


福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo

# 喜多方エリア 活動報告展示


## 2016.2.20(土)～29(月)

【同時開催】 楚々木 冬のワークショップ  
2月20日(土) 定員 15名 参加者募集中!



 **高郷プロジェクト**  
アーティスト 稲垣立男



 **楚々木樂舎 第二章**  
アーティスト 岩間賢



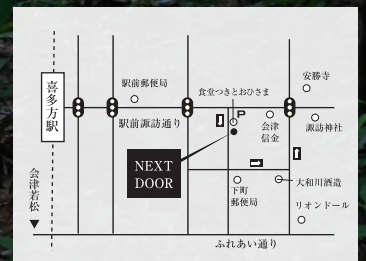
森のはこ舟アートプロジェクト2015・喜多方エリアで進められてきた2つのプロジェクト「楚々木樂舎 第二章」、「高郷プロジェクト」。それぞれの活動記録やアーティストの手により作られた作品を展示公開いたします。喜多方の森の恵はアーティストの目にどのように映ったか、是非ご覧ください。

会場：多目的スペース  
「NEXT DOOR」

(喜多方市寺町南 5007 番地)

時間：12:00～17:00

入場：無料



森のはこ舟  
アートプロジェクト2015

主催：福島県 | 森のはこ舟アートプロジェクト実行委員会  
実行委員会構成団体：喜多方市 | 西会津町 | 三島町 | 北塩原村 | NPO法人まちづくり喜多方 | NPOわくわく奥会津.com |  
実行委員会事務局：NPO法人ふくしまアートネットワーク  
共催：東京都 | アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
協賛：日本たばこ産業株式会社  
助成：公益財団法人 福武財団 | 公益財団法人 朝日新聞文化財団 | 公益財団法人 野村財団  
協力：文化芸術による復興推進コンソーシアム



問い合わせ

森のはこ舟アートプロジェクト喜多方WG事務局  
0241-23-5188(五十嵐)  
core\_mhk@kitamati.sakura.ne.jp

## 楚々木樂舎 第二章

市街地からほんの少し離れた山間に悠久の棚田風景が今も残る楚々木集落。2年前から森の文化を今に伝えるための調査を実施しています。

今年度は今では考えられないようなしきたりや婚礼の手順など「楚々木の祝祭」についての調査に取り組みました。

また、楚々木の森を体感してもらうことを目的に、夏と秋にはワークショップを楚々木分校を活用して実施し、たくさん子どもたちの声が森に響く機会となりました。

### ■展示内容

ワークショップの活動記録、リサーチなどの資料、楚々木の瓦版、等

## 高郷プロジェクト

喜多方の中でも特に森深い「高郷」エリアを舞台に、地域で行われている年間行事に焦点を当ててのリサーチを実施しました。さまざまな形で地域住民とコミュニケーションを交わし、それらの活動記録を基にして作られた映像作品は高郷町文化祭で公開されました。また、かつては海であった「高郷」で発掘される化石にも着目。「クジラの化石を発見した高校生(当時)」にインタビューを行い、化石博物館「カイギュウランド高郷」にて記録映像の発表を行いました。

### ■展示内容

リサーチレポート、活動記録、映像作品、等

### 岩間 賢

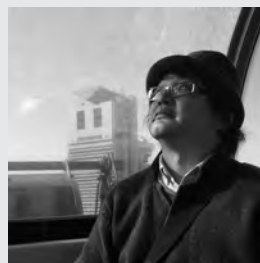
Iwama Satoshi



千葉県生まれ。アーティスト。一貫して土を素材として扱った日本の土壁技法や中央アジアの日干し煉瓦を用いた持続可能な構造物を協働で制作。作品は設置された場や鑑賞者との対話を生み出す。越後妻有トリエンナーレ(2009、2012、2015)において、1000坪の棚田を利用したランドアートを制作。2013年の、中房総国際芸術祭市原アート×ミックスでは廃校を活用した創造の場「月出工舎」を創出。国内外で展覧会やプロジェクト活動多数。現在、愛知県立芸術大学美術学部油画科講師。

### 稲垣 立男

Inagaki Tatsuo



アーティスト。地域や個人とのコラボレーションによるアート・プロジェクトを国内外で実施している。越後妻有アートトリエンナーレ(新潟)などの国際展に参加。近年の活動に、2013年 London Schooling(London)、喜多方・夢・アート・プロジェクト「喜多方博物館五十嵐久悦と絵画一」(福島)など。アーティストインレジデンスやワークショップ、講演の機会も多い。現在、法政大学国際文化学部教授。



## 森のはこ舟アートプロジェクトとは

## 森のはこ舟 アートプロジェクト2015

福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo

四季折々に豊かな表情を見せる森は、多くのめぐみを与えてくれる命の泉です。森は、山、里、海、そして人の心の豊かさを生み育ててきました。人々は、森から糧を得、器を家造ってきました。森は、恐れ崇める場であり、安らぎの場でもありました。浜辺の松林、里山の広葉樹林、奥羽山脈のブナ林。はま、なか、あいづの森が県土の7割を占める福島は、森のくにです。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県は大きく傷つけられました。大量の放射性物質が拡散し、多くの人々はふるさとを離れ、今も将来への不安を抱えながら暮らしています。私たちは、福島再生のために、美しい自然と人々が愛しみ育ててきた豊かな森林文化をテーマとした新たなアートプロジェクトを展開し、未来へ希望を発信するとともに未来に向かう福島のイメージの創造を目指します。

## 楚々木 冬のワークショップ 開催！ 2016.2.20(土) 参加費 無料！

楚々木を舞台にした冬のワークショップを実施いたします。

楚々木の森での雪中散策！

動物の足跡を探したり、雪で遊んだり、冬の森を楽しんでみませんか？

※天候によっては、室内での「ものづくり体験」となります。

9:00	喜多方市役所駐車場集合 (※乗り合わせて移動)
9:30	楚々木分校到着
10:00~12:00	ワークショップ～雪中散策
12:00~13:00	昼食(※軽食を用意いたします)
13:30	楚々木分校出発
14:00	喜多方市役所駐車場解散

### 【お申し込み・問い合わせ】

\*募集定員15名(定員に達し次第締め切り)

\*参加費 無料 \*小学生以下は保護者をご同伴してください。

\*TEL、FAX、メールにてお申し込みください。

森のはこ舟アートプロジェクト喜多方WG事務局

TEL/FAX: 0241-23-5188 (五十嵐)

MAIL: core\_mhk@kitamati.sakura.ne.jp

名前		人数	大人	子供	名
住所					
電話番号					